

国際室 たより

編集：日本弁護士連合会
国際室

No. 37

(主な内容)

- ・留学帰国者報告会を開催します！
- ・第29回 LAWASIAスリランカ・コロンボ大会
- ・国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナー

留学帰国者報告会を開催します！

日時：12月1日(木) 18時～20時 場所：弁護士会館17階1702会議室

日弁連では、公益活動に取り組む弁護士の留学を支援するため、1997年にニューヨーク大学との間で協定を締結したことに続き、カリフォルニア大学バークレー校、イリノイ大学、エセックス大学の各ロースクールと順次協定を結び、日弁連が推薦する会員を、客員研究員またはロースクール(LLM)の学生として派遣しています(LLMはエセックス大学のみ)。これまで派遣した会員の数は、54名に

上ります。

この度、日弁連の推薦留学制度をより良く知っていただくため、帰国された会員による報告会を開催します。

報告会では、留学のきっかけや留学に向けた準備、留学先での研究内容や生活環境、留学後のキャリア等についてお話を伺います。「留学ってトータルでいくらかかったの?」「留学中、家族はどうされて

いたの?」など、「ちょっと聞きづらい、でも知りたい」疑問についても“できる限り”お話していただきます。

本推薦留学制度に限らず、LLM留学を考えている会員の皆様にとっても有益な情報満載の報告会です。沢山の会員の皆様の参加をお待ちしております！

(国際室嘱託 金 昌浩)

第29回 LAWASIAスリランカ・コロンボ大会

8月12日から8月15日まで、スリランカのコロンボにおいて、第29回 LAWASIA年次大会が開催されました。日本からは、幸寺覚副会長、出井直樹事務総長を始め、約50名の法曹関係者が参加しました。

初日の開会式には、スリランカの Maithripala Sirisena大統領、同 Ranil Wickremesinghe首相、最高裁長官等も出席し、また、色とりどりの民族衣装を身にまとったダンサーたちの民族舞踊も披露され、壮大な雰囲気の中で大会の幕が開けられました。

翌13日からのセッションは、内戦和平、ADR、ビジネスと人権、司法の独立、憲法、銀行・金融法、家族法など多岐に渡る内容に及び、日弁連からも複数の会員がス



開会式でのダンスパフォーマンス

ピーカーを務めました。

14日夜に開催された Galaディナーには、各国の参加者が盛装に身を包んで参加しましたが、日本の参加者も華やかな着物姿や現地の衣装サリー姿で登場し思い思いの交流を行いました。

また、今回の大会では、来年に迫る東京大会のプロモーションも兼ねて、LAWASIA東京大会2017組織委員会からも多くのメンバーが参加し、在スリランカ日本大使館のご協力を頂きながらコロンボ大会を通じて色々な場面で、東京大会をPRしました。

開会式後のレセプションでは、特別に日本のコー



レセプションで和太鼓を演奏する光野真純会員

ナーを頂いて、様々な銘柄の日本酒を振る舞い、日本茶のお点前を披露し、和太鼓演奏を行いました。日本のおもてなしに、現地スリランカの人々を始め、多くの参加者が魅了されていたようです。

コロンボ大会最終日の閉会式では日本からの参加者全員がはっぴを着て壇上に上がり、“Welcome to Tokyo”の文字で東京大会をアピールしました。

来年、2017年の記念すべき第30回大会は、9月に東京のホテルニューオータニで開催されます。一人でも多くの方に参加頂けるよう、充実した内容の大会となるよう、これからいよいよ本格的な準備がスタートします。

東京大会の日程は2017年9月18日から21日、大会テーマは“Big Leap through the Rule of Law—LAWASIA Legacy and Future Role”(「法の支配による大いなる飛躍～ローエイシアの軌跡とこれからの役割」)。

PLEASE SAVE THE DATE!

(国際室嘱託 竹内 千春)

国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナー

9月2日、3日の両日、国際分野で活躍するための法律家キャリアセミナーが弁護士会館で開催されました。今年で7回目となる本セミナーは、法務省及び外務省の共催、法科大学院協会及び国際法学会の後援を受けて、若手弁護士、法科大学院修了生及び法科大学院生等を主な対象として、国際分野の理解を深め、国際分野で活躍するためのキャリアプランを考える一助にしてもらうべく行われています。

1日目は、国際人権、外交、国際関係法の第一線で活躍する実務家から、それぞれの業務内容、求められる人物像や資質、やりがいなどを、パネルディスカッションや講義の形式でお話いただきました。2日目は、選択セッションも導入し、国際機関、企業内法務、国際司法支援の各分野の実務家や、国際

法曹団で活躍する実務家を幅広い年代から迎え、より具体的な実務とキャリア形成に即したパネルディスカッションが展開されました。また、国際金融機関で活躍する法律家から、留学や海外勤務を通じたキャリア形成の具体例を紹介されました。当日のプログラムは日弁連 HP(http://www.nichibenren.or.jp/library/ja/event/data/2016/event_160902-0903.pdf)をご覧ください。

本セミナーには約70名の受講生が参加し、セッションを経るごとに鋭い質問が活発に行われました。セッション終了後も講師に質問を続ける受講生もあり、国際分野への関心の高まりがみられました。

初日の夜には、受講生と講師の懇親会を設け、受講生が関心分野の講師に疑問点をぶつけ、講師から

励ましをもらい、大きな盛り上がりを見せました。また、初日にはまだ具体的な関心分野がなかった学生らも、2日目の終了時には講師に積極的にアピールするなどの姿も見られました。

本セミナーの受講をきっかけに、一人でも多くの法律家が国際分野で羽ばたくことを願ってやみません。

(国際室嘱託 片山 有里子)



開会の挨拶をする中本会長